

「名もない挑戦」に加担するプロジェクト参画機会

Beyondワークβ 第2期プロジェクト募集要項

【お問い合わせ先】

NPO法人ETIC.『Beyondワークβ』事務局

担当：腰塚、鈴木、番野

beyondwork@etic.or.jp

- 1 『Beyondワークβ』とは
- 2 第2期プロジェクト募集要項
- 3 プロジェクト参加決定後の流れ

” Beyond ワーク β ”とは？

【concept】

「まだ名もなき挑戦」に対して、「それいいね！」と想いに共感し加担するプロジェクト参画機会。

想いでつながり、
値踏みやジャッジメントなしで、
想いが同じメンバーと、
期間を決めて実験的にともにチャレンジ。
信頼関係が育まれ、その先もつながっていける仲間となれる。



実証実験(第1期)プロジェクト(10件)



産後ケア啓蒙
@東京



高校キャリア教育
@神奈川県



1億円ビジネス創出
@岡山/西栗倉



域内ジョブローテ
@熊本/南小国



物産館アップデート
@熊本/南小国



おばあちゃん食堂
@岡山/西栗倉



コワーキング拠点
@宮城/気仙沼



実験都市への転換
@静岡/熱海



森あそび空間利用
@島根/雲南



校長コミュニティ
@東京

”Beyond ワークβ”事例(第1期)

こどもたちが未来を生き抜く力を身につけるために。
より良い教育へのチャレンジを共に企てる校長・教育長の巻き込み

教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォーム



【抱えていた課題】

文科省キャリア官僚の若手有志と、NPO法人ETIC.で協働事務局を持ち、運営。教育長・校長が全国から集うイベントを通じ、教育現場の実情と向かうべき未来を地域を越えて議論してきた。

300名以上の教育長・校長を巻き込み、裾野が広がる一方で、イベント時だけでない関わりやコミュニティ形成などに課題感があり、今後向かうべき方向性に迷いがあった。

【成果】

メンバーがステークホルダーインタビューを実施。文科省相手だと本音を出しにくい校長、教育長から、本音や未来に向けたニーズを聞き出すことでニーズの把握ができた。

外部人材であるメンバーの献身的なコミットにより、組織自体が外部との協働に前向きになれた。結果として、教育に想いのある外部人材も巻き込んでの新体制への移行へと舵を切ることができた。

【参画メンバー】

- ・製薬会社／マーケティング担当
- ・コンサル会社／ITコンサル
- ・学校法人／事務局

【PJオーナーの声】

この1、2年今後の方向性に葛藤していたところからトンネルを抜けられた感覚。
組織としてのインパクトはかなり大きかった！

” Beyond ワーク β ”事例(第1期)

気仙沼にクリエイターのを。 ワーケーションスポット立ち上げプロジェクト

memento mori(個人事業)



【抱えていた課題】

水産業のまちであり、世界に誇れる商品は豊富。しかしデザインやマーケティングは不得意な領域。昨年、ふるさと納税の返礼品用に市内企業20社ほどのバナーデザインを改変したところ、前年より全体の寄付額が約300%増えた。

そこで、日本中のクリエイターが気仙沼を目指してワーケーションをしに行きたいと思える場所を作ることによって産業を後押しを目指す。

【成果】

ワーケーションに関するデスクトップリサーチや大企業(ロート製薬)内でのワーケーションの導入可能性のリサーチ、同じ宮城県内での事例検討などを行うリサーチを実施。現地にも足を運び、リサーチペーパーを提出。企業での導入検討など含め、その後も二人とも継続的に関わっていく方向。

地域側が無意識に内向きになっていた視点が変化し、具体的にプロジェクトも今後実現を目指し、模索することになった。

【参画メンバー】

- ・製薬会社／知財担当マネージャー
- ・NPOセンター／事務局

【PJオーナーの声】

「まずは自社で進められないかやってみたい！」と前のめりに関わってくれたことがうれしい

” Beyond ワーク β ”関係図

組織の垣根を越えて、ともに学び合う



想いに共感してくれるメンバーを外部から募る。仲間として共にプロジェクトを実施

プロジェクトの想いに共感。PJオーナーと共にまずは3ヶ月間、試行錯誤

社員のBeyondワークβへの参加を支援・奨励

プロジェクトオーナーにとっての機会こんな機会として使ってください

- 自分たちが挑戦してみたい「生煮え」の案件と一緒に動かしてくれる仲間に出会う。
- 実験的なプロジェクトで信頼関係を築き、その中から長期的にコミットしてくれる仲間がうまれるきっかけに。



プロジェクトに参画する「参画者」の対象層

①企業に公に応援され参加する企業社員

(参加企業: ロート製薬(株)、アビームコンサルティング(株) etc.)

- ・賛同する企業を募り、社内の希望者が参画できる環境を整備。
- ・研修や業務として指示されるのではなく、必ず希望者がエントリー。
- ・企業により、副業や研修など扱いは異なるものの、目的は、共通して個人が自由に挑戦すること。

②個人参加

- ・ETICを通じて、個人で挑戦したい方を公募。

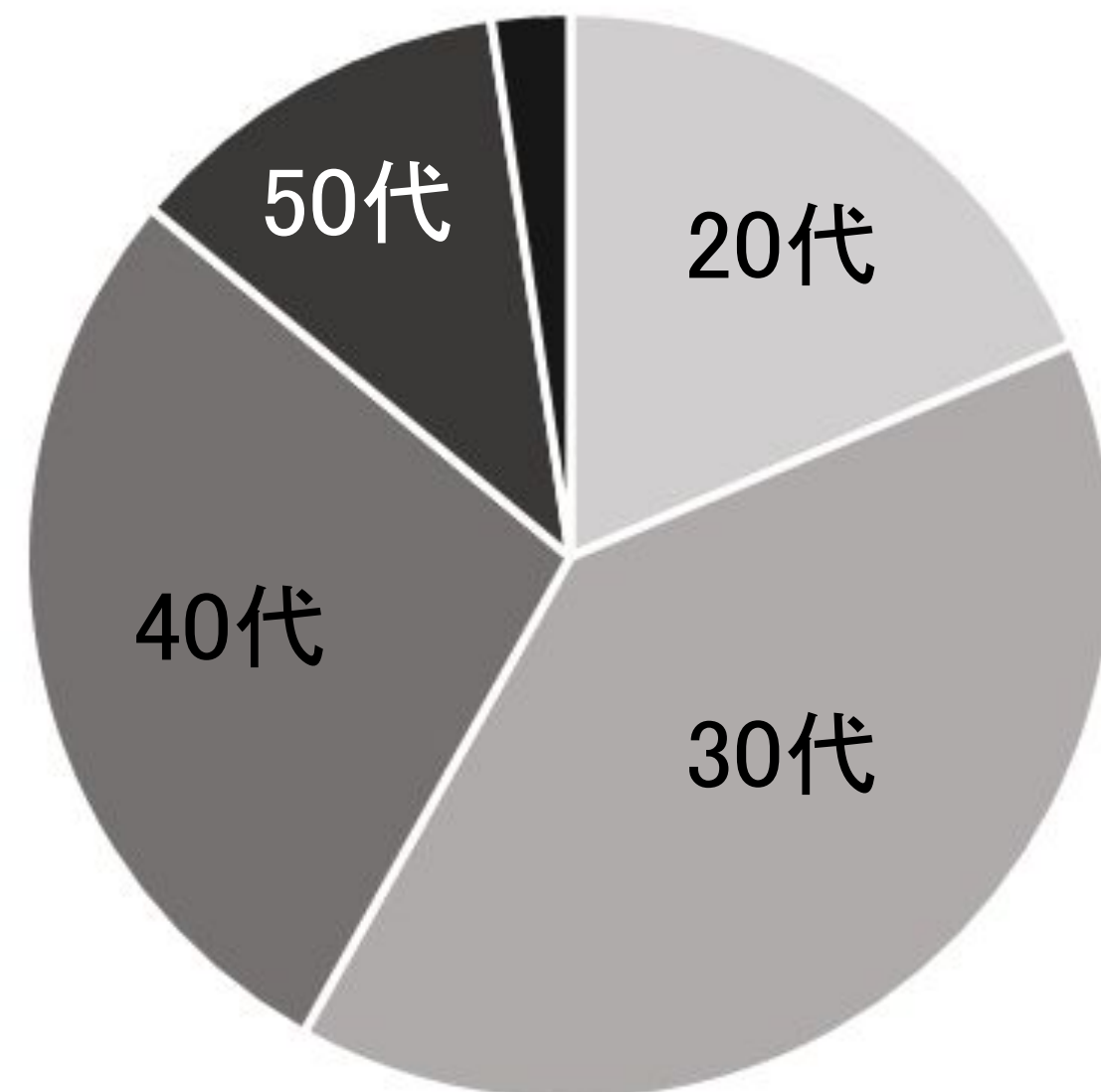
参加層についての分析

・ 応募総数: 44件 (企業枠: 13件 / 一般枠: 31件)

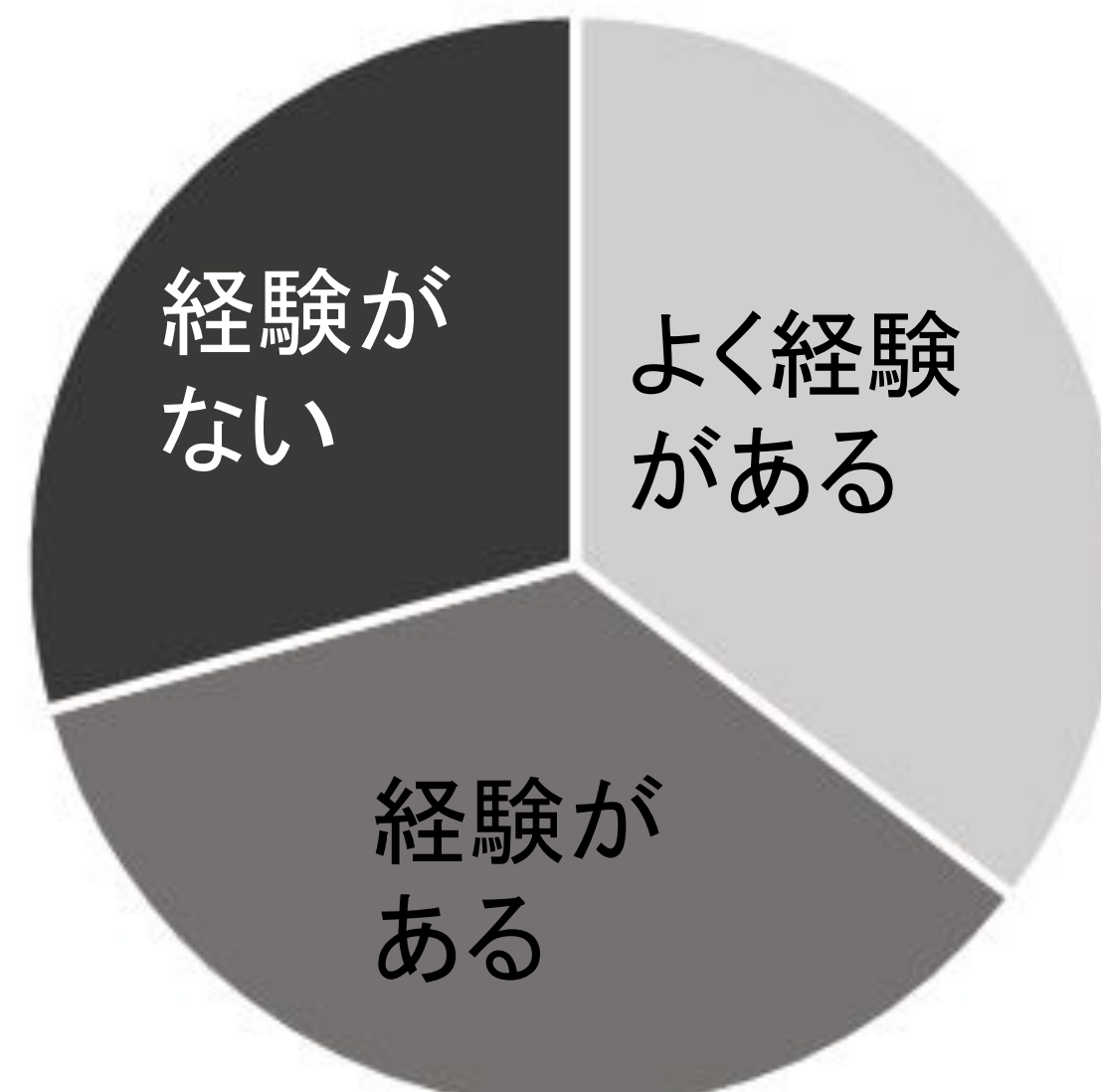
・ 傾向

- ・ 予想よりもマネジメント層のエントリーが多く、年代は多様。
- ・ 一般参加含めても、大企業社員の割合が多い。(大企業6割 / 中小3割 / ソーシャル1割)
- ・ 期待通り、意識が高い人だけでなく、社外に出たことない層も各3割ずつエントリーがあった。
- ・ 動機は、おもしろみややりがい4割。収入や今の仕事に活かすという動機はゼロ。

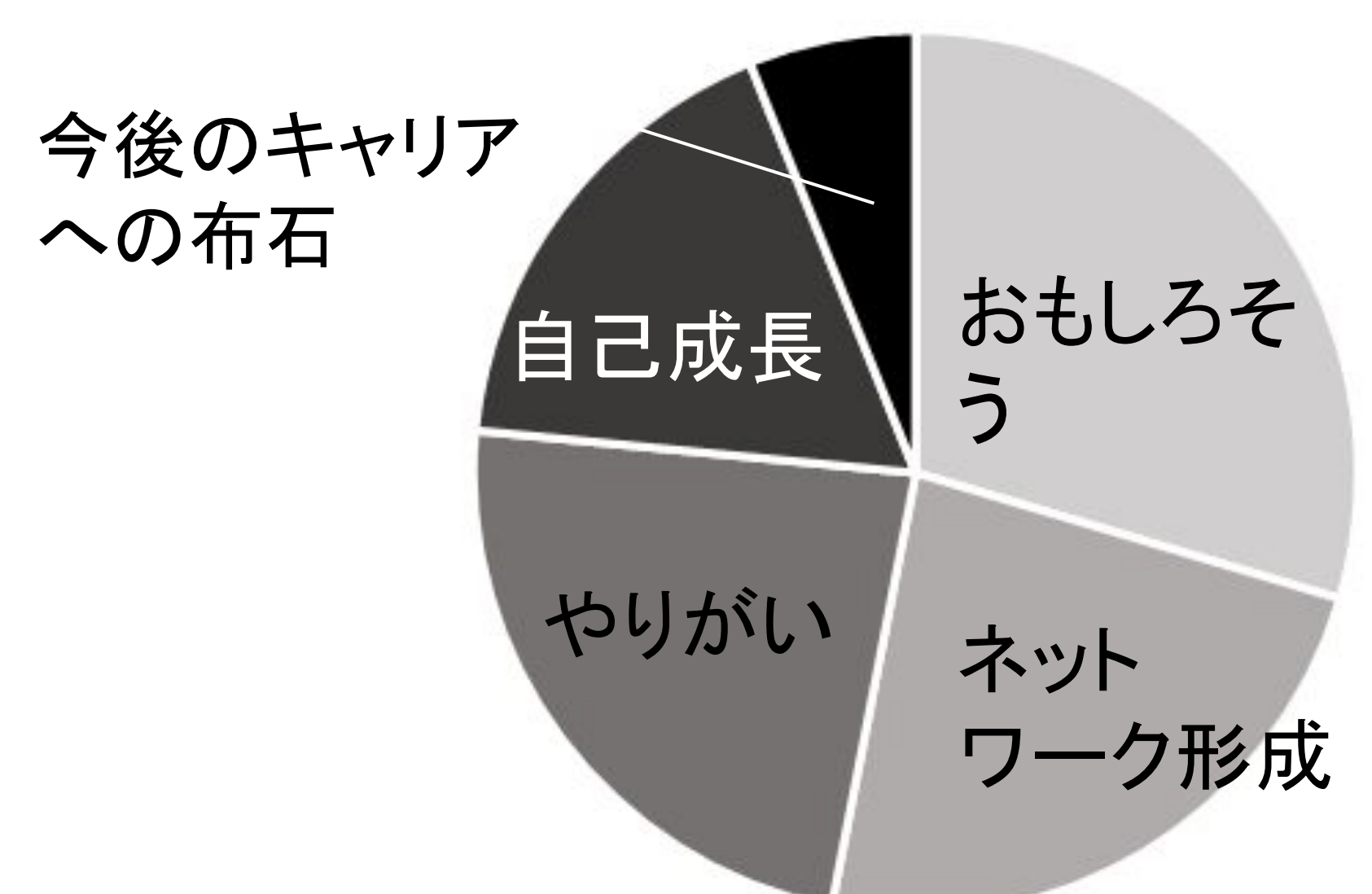
■ 年代



■ 越境経験(プロボノ・副業など)



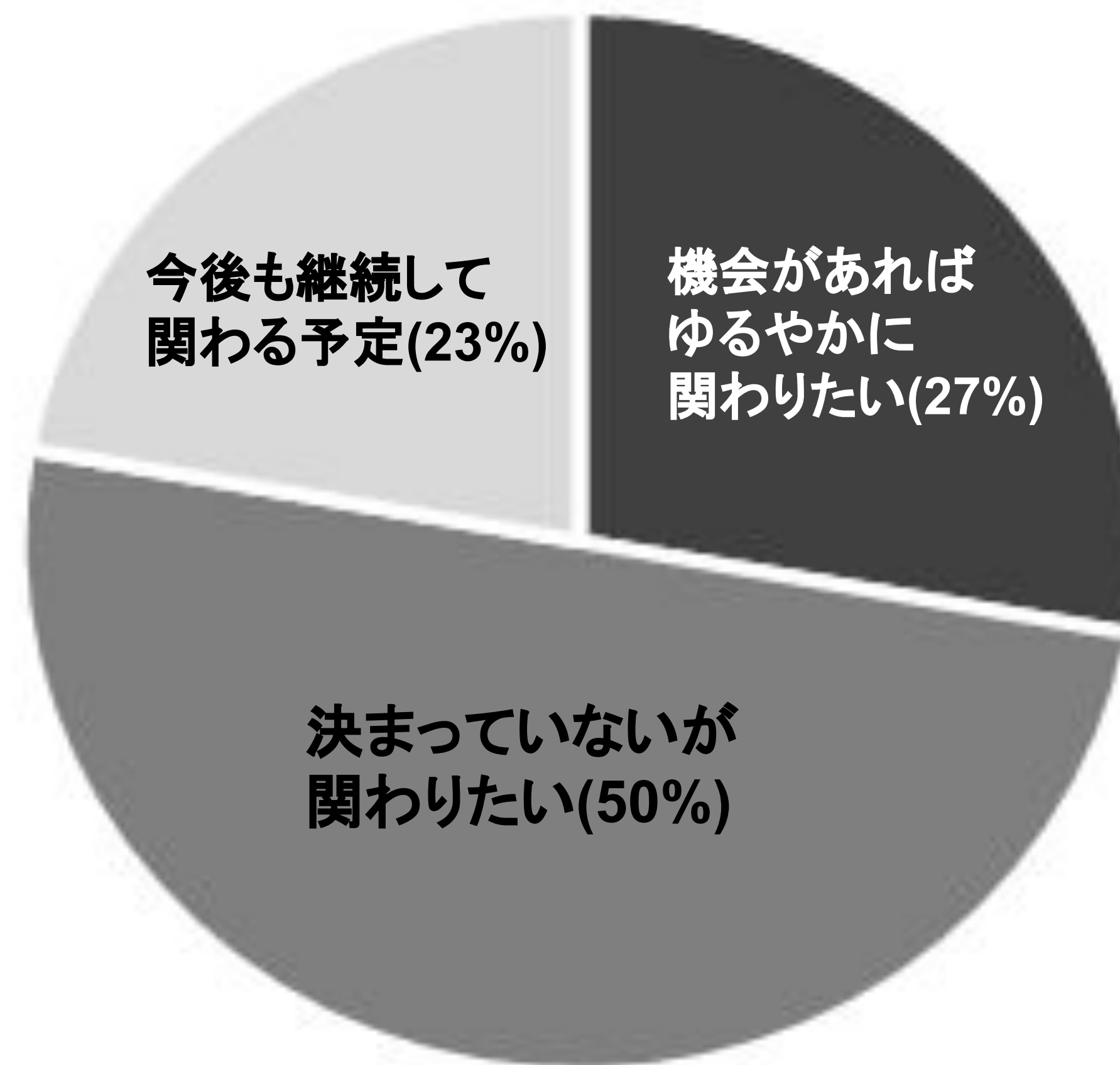
■ 参加動機



第1期を経て、プロジェクト終了後の関わり

すでに継続的に外部人材として関わることが決まった方が23%。それ以外の方も半数が、何等かのかたちで具体的にコミットしたいと回答。

3か月間の「お試し」での関わりが、中長期的なコミットに繋がっていく手ごたえを感じています。



「Beyondワークβ」と副業/プロボノとの違い

- ◎ 事業・プロジェクトのビジョンへの共感を最重視
- ◎ 試行錯誤段階の実験的な事業・プロジェクトに参加
- ◎ プロジェクトオーナーと同じゴールに向かって仲間として試行錯誤
- △ プロジェクトオーナーと参加者の関係は、単なる雇用関係ではない
- △ 専門性やスキルで参加者を選ばない(プロボノとの違い)
- × 参加者の動機は金銭目的ではない(副業との違い)

プロジェクトオーナーの声(第1期より)

- ・Beyondワークβ参加者の献身的なコミットで、外部との協働に前向きになれた。
- ・当事者だと聞きにくい本音や未来に向けたニーズをステークホルダーからインタビューで聞き出せた。

留意点

- 1、スキルも経験も高い人が来るとは限らない(選考はできる)
- 2、やはり時間外で対応しなくてはいけないこともある
- 3、基本オンラインだけど、早い段階で現地訪問を企画したほうがいい
- 4、労働補充というより、実験をやるメンバーと捉えらえるプロジェクトがマッチします

大切にしたいポイント



心が動くコトを
自分で選ぶ



お試しで3か月
協働チーム組成



成果にこだわる
共に成長する

2022年 第2期スケジュール

【10/13-21】

プロジェクト
募集・決定

プロジェクトオー
ナー募集

-第2期PJ募集

-10/13(木)プロジェ
クトの公募開始(先
着順)

【10/24-11/20】

エントリー受付

『Beyond
ワークβ』
説明会
【11/8-9】

-参加者向
け説明会

-エントリー者は説
明会参加または録
画視聴のいずれか
必須

「プロジェクト紹
介プレゼン動
画」をWEBで視
聴

-PJオーナーによる
ピッチ動画をWEB
上で公開

PJオーナー
による個別説
明会

-各PJにてエント
リー期間中にオン
ライン個別説明会
を開催(必須・1回
以上)

-エントリー者の個
別説明会への参
加は任意

【11/21-12/2】

選考

PJオーナーに
よる書類選考
&オンライン面
談

【12月上旬】

プロジ
エクト
開始

プロジェクト推進の流れ

参加者との契約

『業務委託契約』の締結

-事務局より定型フォーマットを提示

-PJオーナーと参加者
とで締結

※プロボノ参加の場合も
締結

プロジェクト期間(3か月) ※2023/3/10までに終了

キックオフmtg 【各チームにて実施】 12/3(土)-12/10(土)

-進め方やワークショップ
は事務局よりフォーマット
を提示

中間 ギャザリング 【オンライン集合研修】 12/26(月)15-17時

-第2期のPJオーナーと参加者
全員が集結

-中間ふりかえり、目標設定・進
め方のチューニングを行う

振り返り会 【オンライン集合研修】 3/10(金)15-17時

-第2期のPJオーナーと参加者
全員が集結

-PJの振り返りと相互フィード
バック

※中間ギャザリング、振り返り会は、PJオーナーのみなさんも参加必須です。ぜひご予約をお願いします。

報酬プラン

参加者は、業務委託契約でプロジェクトに参画。

参画をより簡易化にするために、報酬はメニュー化。

プロジェクトオーナーは、メンバー募集時に以下のA-Cから想定業務ボリュームを選択。

報酬が用意できない場合は、プロボノでの参加を前提とすることも可能。

その場合も、コミット量の目安を明確にするため、A-Cのいずれかを選択する。

	金額	想定コミット時間(MIN)
Plan A	3万円／月	6時間／週
Plan B	7万円／月	2日(16時間)／週
PlanC	10万円／月	3日(24時間)／週

※委託契約の想定であり、コミット時間はあくまでも目安。

※どのプランも、参加者の希望により、プロボノ(無償)での参加することも可能。

※想定コミット時間以上に参画することも可能。参加者は、エントリー時にコミットできる想定時間を申告。

※アポイント等に同席できるように日中業務時間中も活動時間を確保するように参加者には推奨。

- 1 『Beyondワークβ』とは
- 2 第2期プロジェクト募集要項**
- 3 プロジェクト参加決定後の流れ

Beyondワークβ第2期のプロジェクトオーナーを募集します

項目	概要
プログラム期間	2022年12月～2023年2月(3か月間)
プロジェクト件数	15件(予定)
プロジェクト募集方法	公募／先着順 ※エントリーフォームにて応募 プロジェクト設計シートのメールでの送付が別途必須
プロジェクト受付開始	10/13(木)10:00 ※募集件数に達し次第、受付終了

※このプログラムはβ版として実証実験中です。皆さんのフィードバックをもとにバージョンアップして予定。
参画された皆さんにはフィードバックにご協力いただけたら幸いです。

応募資格

1. プロジェクトオーナーが以下のいずれかであること。
 - a. NPO法人ETIC.のプログラムやサービスに過去または現在参加したことがある方。
ETIC.のパートナーや、形成するコミュニティのメンバーである方。
 - b. NPO法人ETIC.のコーディネーターからの推薦がある方。
2. 「応募プロジェクトの要件」を満たしていること。

※法人の有無や、事業フェーズは不問です。

活動実態があれば、個人でも任意団体でもご応募ください。

応募プロジェクトの要件

1. 広義の社会課題の解決に資する事業・プロジェクトであること。
2. 1年以内に実現したい事業構想や実験・検討段階の「生煮え」の新しい挑戦であること。
※実現する予定のないプロジェクトは控えてください。
※既に収益化できている事業拡大段階の労働力の補充には適していません。
3. プロジェクトの想いに共感した人材が活躍できるプロジェクトであること。
例)リサーチ、様々な視野からのブレスト・プランニング、実証実験など
4. プログラム期間内(3か月間)で実現可能なプロジェクトであること。
※事業の黒字化など、期間内に目標達成が難しいPJ設計は避けてください。

コミットメント①ー参加者とのコミュニケーションー

1. 参加者に対し、3ヶ月間の実務経験期間を必ず確保すること。
※期間終了後も、双方の希望があれば、自由に契約・関係継続して構いません。
2. プロジェクトオーナーは、参加者受け入れに対して必要な準備と時間の確保を行うこと。
また、意思決定者としてプロジェクトにコミットすること。
 - ープロジェクト設計・ゴールの仮説設定
 - ー参加者への情報共有(これまでの経緯、ステイクホルダー、事業の現状、経営課題など)
 - ー事業責任者・意思決定者としてプロジェクトへの積極的なコミット
3. 参加者と組成するプロジェクトチームでは、個々が理解しあい、フラットに意見の言い合える関係性を目指すこと。また、相互に成長へ貢献できるようフィードバックをシェアすること。
4. プロジェクトへのエントリー者に対し、不採用の場合でもその理由をフィードバックを行うこと。

| コミットメント②ープログラムへの参加ー

1. 参加者募集・プロジェクト準備に関して、以下の機会について参加・実施
 - ー『Beyondワークβ』参加者向け説明会(11/8(火)12:00-13:30または,11/9(水)16:00-17:30のいずれか)
 - ーETIC.コーディネーターとのプロジェクト設計面談(10/14(金)-10/18(火)で個別調整)
 - ープロジェクト個別説明会の実施※すべてオンラインでの開催を想定しています。
2. 「Beyondワークβ」の提供するプログラムへ参加
 - ー中間ギャザリング
 - ー振り返り会
3. 「Beyondワークβ」事務局が実施するアンケート・ヒアリング等への協力
4. 事務局とのslackでの円滑なコミュニケーションへの協力
5. その他、プログラムを円滑に実施するため、事務局からの要請への協力

プロジェクト応募方法

2022年10月13日(木)10:00 受付開始

先着順で決定します。プロジェクト数が15件に達し次第、受付終了予定です。

●応募方法

- (1) 募集要項(本資料)にて要件を満たしているかを確認
- (2) 「Beyondワークβ」プロジェクト設計シート(別添のPPT資料)を記入
- (3) プロジェクト設計シートをBeyondワークβ事務局(beyondwork@etic.or.jp)にメール送付
件名:「Beyondワークβ」プロジェクト設計シート提出(団体名)
- (4) [エントリーフォーム\(https://onl.tw/F1P5KwN\)](https://onl.tw/F1P5KwN)の入力

※事前に(3)の[プロジェクト設計シート](#)の送付が必須です。

必ずプロジェクト設計シートを送付してからエントリーをお願いします。

※エントリーフォームとプロジェクト設計シートの内容を確認し、応募資格とプロジェクト要件を満たしていることが確認でき次第、事務局から参加確定のご連絡をします。

要件を満たしていない場合は、参加いただけません。予めご了承ください。

※参加が確定しても、エントリー者がいない場合はプロジェクトがスタートできない場合があります。

- 1 『Beyondワークβ』とは
- 2 第2期プロジェクト募集要項
- 3 **プロジェクト参加決定後の流れ**

①参加者の募集準備 (10/13-10/24)

コーディネーターとの面談
【10/14(金)-10/18(火)】

10/14(金)-10/18(火)の間にオンラインで1時間程度、ETIC.コーディネーターとの面談をお願いします。面談では、プロジェクト内容や目標設定などのチューニングをします。

※PJエントリーフォームで面談日程の候補を選択いただきます。

PJ設計シートの再提出
【10/21(金)まで】

面談内容を踏まえて、プロジェクト設計シートの内容を更新してください。このシートをHP上で公開し、参加者を募集します。

更新期限:10/21(金)提出×切

参加者募集開始
【10/24(月)】

10/24(月)Beyondワークβ(第2期)サイトオープン予定

②参加者の募集 (10/25-11/20)

「Beyondワークβ」説明会
への参加
【11/8 or 11/9】

11/8(火)12:00-13:30 / 11/9(水)16:00-17:30

エントリー者向け説明会です。8日か9日のどちらかにご参加ください。

説明会内で、PJのプレゼンをしていただきます。

プレゼンは録画し、HP上に後日公開します。

※参加日程は事務局と事前に調整予定です。

プロジェクト個別説明会
の実施
【11/10(木)-11/18(金)】

エントリー希望者向けにオンライン個別説明会の開催をお願いします。

指定期間中に、必ず1回は実施ください。(複数回開催してもOK)

説明会はPJオーナーに主催いただきます。当日Beyondワークβのスタッフは同席しません。Peatixのイベント作成、候補者への周知は事務局にて行います。

1時間程度で、プロジェクトの詳細(内容・背景・現状など)の説明と質疑応答を想定していますが、自由に時間や構成を工夫いただいても構いません。

説明会の日程は、PJエントリー時にPJ設計シートへご記入ください。

エントリー×切
【11/20(日)】

11/20(日)参加者エントリー×切

※複数プロジェクトへのエントリーが可能です。(ただし参加は1PJのみ/兼務不可)

※人材のエントリーがない場合もございますので予めご了承ください。

③選考 (11/11-12/2)

PJオーナー向け
オリエンテーション
への参加
【11/11(金)】

11/11(金)13:00-14:00

PJオーナー向けオリエンテーションをオンラインで行います。

選考のフローの詳細説明や、プロジェクトを進める上での注意点などを共有する予定です。

※参加が難しい場合は、事務局へご相談ください。

選考
【11/21(月)-12/2(金)】

11/21(月)-12/2(金) エントリー者の選考(書類&面談)

参加者のエントリーは事務局が一括して受付し、各PJにエントリー内容を共有します。PJオーナーがエントリー者に直接コンタクトし、オンラインでの面談を調整・実施してください。

日程調整を効率化するために、11/21~11/29の間で半日×3日程程度の採用面接枠を事前にPJ設計シートで提示ください。エントリー者は、エントリーフォームに候補の中から希望する時間帯を記載します。

12/2(金)までに選考結果をエントリー者と事務局へ連絡してください。

④キックオフ (12/3-10)

キックオフmtgの実施 【12/3(土)-12/10(土)】

キックオフmtgは、各プロジェクトにて個別に開催いただきます。

12/3(土)-12/10(土)の期間中に実施してください。

キックオフmtgのフォーマットやワークシートは、事務局より提示します。

以下のような構成で、全3時間を想定しています。1時間半ずつ2回に分けて行っても構いません。

【第1部】チームメンバーの自己紹介・チームビルディング(1時間半)

【第2部】PJオーナーからの現状共有・プロジェクトの目標設定(1時間半)

キックオフmtgの日程は事前に決め、プロジェクト設計シートへのご記入をお願いします。

エントリー者のみなさんにも、エントリー時から予めご予定いただきます。

もし参加者の中に日程調整が難しい方がいた場合は、チームメンバーで日程を再調整ください。